

# 重点連携大学: マレーシア工科大学(UTM) 国際連携知財講座を核としたアジアにおけるMOT教育研究の推進

## 経緯

- 2012年 9月 山口大学とマレーシア工科大学とのMOU締結
- 2013年 3月 現職教員の在籍出向(2016年2月まで3年間)
- 2013年11月 クロスボーダー型PBLプログラムを開始
- 2014年 3月 山口大学サテライトオフィス開設
- 2015年 2月 ダブルディグリープログラム開始
- 2016年 5月 特命准教授と知財アナリストを配置
- 2016年11月 国際連携知財講座を開設



サテライトオフィス開所式

## 特徴

- ・国際連携知財講座を核とする組織的かつ包括的な取り組み
- ・山口大学とUTMとの代表者が共同で講座運営
- ・プロジェクト型で研究チームを編成
- ・知的財産研究を中心としたMOT研究に特化
- ・UTMが先端的知財データベースを含む基盤設備を整備
- ・山口大学がエキスパートの派遣等による研究環境を整備



国際連携知財講座開所式

## 研究計画

- 2017年 知財を通じて技術と経営を横断するテーマで研究チームを編成  
テーマは「オープンイノベーションと知財」、「M&Aと知財」、「技術標準と知財」を想定
- 2018年 本講座が所有する先端的かつ包括的なデータベースに加えて、よりきめ細かく東南アジアの知財トレンドを分析するためのユニークな基盤データベースを構築
- 2019年 先端的な自然科学研究と知財研究を融合させる研究プロジェクトをスタート